

令和元年度 東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞

< 大賞 (3団体) >

区分	団体名	取組概要・審査のポイント
企業	損害保険ジャパン 日本興亜株式会社	<ul style="list-style-type: none"> • NPOと協働し、将来を担う子どもたち（およびその保護者）を対象とした、誰にでも親しみやすい防災啓発プログラム「防災ジャパンプロジェクト」を展開。全国の拠点が地域のニーズに合わせ、自治体・学校・企業等、幅広い主体と協働している (2019年末で累計 53,076 名が参加) • グループ会社役職員がメンバーとなるボランティア組織「SOMPO ちきゅう倶楽部」では、森林保全活動、地域清掃、車いすメンテナンス清掃などの活動に毎年 2 万人を超える国内のグループ社員が参加しており、非常に大規模な取組みとなっている また、役職員有志が任意の金額を寄付し、社会貢献活動などに役立てる「SOMPO ちきゅう倶楽部社会貢献ファンド」は、メンバーが実施するボランティア活動費用や広域災害支援、メンバーが推薦する NPO 団体等への寄付に活用されている • 防災・減災から健康・福祉まで様々な分野の活動を、都内をはじめ全国の様々な地域で継続的に展開し、多くの社員が参加している
教育機関	東京都立 田園調布 特別支援学校	<ul style="list-style-type: none"> • 「落ち葉プロジェクト」では、地域住民から回収した落ち葉を腐葉土にして生徒が野菜・花を栽培。落ち葉回収に協力した住民など地域住民に提供・販売し、循環型社会づくりに取り組んでおり、多くの関係者と連携して、それぞれが自分の役割を果たしている • 喫茶、園芸などの作業学習の成果を活かし、街の美化や高齢者の生活を支援している • 学内に留まらず地域住民、商店街などを巻き込みながら活動を実施することで、生徒の社会参加のきっかけづくりや、地域の学校への理解促進に寄与している
民間団体 その他	特定非営利活動法人 市民サポートセンター 日野	<ul style="list-style-type: none"> • 子育て、高齢者、地域貢献などの分野で市民が相互に助け合う「市民相互援助活動」を実施。15 年にわたり活動し、会員数は 7,500 人を超えており、規模と継続性に優れている • 地域の母親たちと地元野菜を使ったコミュニティカフェを運営し、カフェは、高齢者から子育て世代など、多世代交流の場ともなっているなど、多くの市民が参加している • 長期的な地域課題を見据えた自主的事業に意欲的に取組み、新たな市民活動の場の創出につなげるなど、活動の多様性や高い波及効果がある

令和元年度 東京都共助社会づくりを進めるための社会貢献大賞

< 特別賞 (4 団体) >

区分	団体名	取組概要・審査のポイント
企業	ALSOK	<ul style="list-style-type: none"> 警備業のノウハウを活かし「防犯」「救急救命」をテーマとした出前授業「ALSOK あんしん教室」を 2005 年以降都内の延べ約 1,300 校で約 5,800 回実施し多くの実績がある 学年やテーマに応じた授業プログラムの開発や、マニュアルを整備し社員の参加を促すなど、組織的に活動を推進している
教育機関	東京都立 足立東高等学校 ボランティア部	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア部が区役所、地域自治会と連携。交通安全・挨拶運動や、地域避難所運営訓練の運営補助など様々な活動に積極的に参加している 生徒の自己肯定感の向上や社会性をはぐくむ機会として、ボランティアを活用している
	荒川区立 第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> 荒川区障害者大運動会の運営ボランティアを長期にわたり継続。生徒にとって障害者理解の機会となっている 近隣地域の清掃活動を 7 年間毎朝実施している
民間団体 その他	子育て支援サークル ママヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止を目的とした子供の一時預かりを実施。保健所等と連携しながら、虐待をする母に隣人として寄り添う活動を 20 年の長期にわたり継続している 練馬区全域でのネットワークづくりにも取り組むなど、子育てがづらいと感じるママたちの味方として、クローズの会ではあるが地域に定着している。